SDGs達成に向けた
『ビジョン』と『取り組み』

株式会社 三 弘

【株式会社三弘】
バリューチェーンにおけるＳＤＧｓマッピング

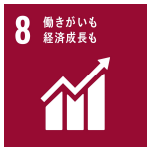
◇プラスの影響を強化することができる活動

3.9 環境汚染減少

4.4 社員教育

6.3 水質改善向上
6.6 生態系の保護等

7.2 再生可能
エネルギー拡大



8.5 ディーセント・ワーク
同一労働同一賃金

9.4 省電力化拡大

11.5 水関連災害減少
11.6 大気の質向上
11.b 総合的な災害リスク
管理

12.4 健康や環境への
悪影響最小化
12.5 再生利用・再利用
の促進

13.1 気候関連災害
適応力強化
13.3 気候変動に関する
教育・啓発の改善

14.1 海洋汚染防止・削減
14.2 健全で生産的な海洋の
実現
14.3 海洋酸性化の最小限化

17 パートナーシップ
活性化

商品提案（企画） → サプライヤー選定（開発） → 仕　入 → 流通・販売・メンテナンス

◇マイナスの影響を最小化することができる活動

3.4 保健と福祉の促進
3.6 道路交通事故減少

5.1 エンパワメント
支援
5.4 育児休暇等
取得
5.5 女性のリーダー
シップ機会確保

11.6 都市環境
悪影響の軽減

12.1 環境配慮製品の
利用

13.2 気候変動影響の
軽減

※ＳＤＧｓ達成に向けたビジョン

『SDGs』× sanko

私たちは計測技術で日本を元気にするという理念に基づき 計測技術トータルプランナーとして 変化し続ける**「技術開発」「環境防災」**に貢献して参りました。

～ 私たちのこれからは「モノ売り から コト売りへ」～

ただ 計測機器を販売・メンテナンスするだけでなく**「お客様の課題」「地球環境の課題」**に対して 計測技術で解決するソリューションを通じ**「技術革新が求められる産業界」「地域の人々の暮らしの安全」「地球環境」**に貢献し 持続可能な社会の実現を目指します。

※ＳＤＧｓへの取り組み①

『グリーン社会』×

私たちの住む地球は「持続可能な社会」へ向けて環境問題の解決が求められています。
地球環境の未来・私たちの未来を守る「グリーン社会」の実現に向かって 計測技術ソリューションを通じてお客さまのグリーンイノベーションへ貢献します。

◇水素社会、再生エネルギー等の研究開発に対して計測技術ソリューションをもって貢献します。

◇環境リスク軽減製品の積極的な取扱いで 研究段階からの環境への配慮を実現します。

◇グリーン社会実現を目標とするパートナー企業を獲得することで 新たなビジネスを創出し「グリーン社会」の実現に貢献します。

※ＳＤＧｓへの取り組み②

『水』× sanko

生活の中で安心・安全に”水”を利用できるのは、各施設・工程で厳格な水質測定がされているからです。私たちは関連する水質測定ソリューションや新たな計測手法の提案を通じて「資源豊かな地球環境の持続性」と「人々に安心・安全な水と衛生」に貢献します。

◇水質測定ソリューションを通して 水に関わる分野の管理向上へ貢献します。

◇海洋保全のため 水質総量規制遵守への助力として 関連機器販売・適切な維持管理の取組を強化します。

◇水質測定機器を保守・点検することで適切な維持管理を可能にします。

※ＳＤＧｓへの取り組み③

『防災』×

私たちの住む日本は自然災害が多い国です。

ゲリラ豪雨や地震災害から身を守るための気象・地震情報をいち早く入手できる様、防災・減災に直接繋がる計測技術ソリューションを通じ、地域の安全・安心へ貢献します。

◇気候変動に伴い頻発化する洪水・ゲリラ豪雨等の水害に効果的な、水位観測装置や雨量計等の販売・保守メンテナンスサービスを通じて 地域の防災活動へ貢献します。

◇地震大国である日本において、この東海地区も将来的な大地震が予想されています。来る地震災害に対して 地震観測装置（地震計）の販売・保守メンテナンスサービスを通じ 地域の防災活動へ貢献します。

※ＳＤＧｓへの取り組み④

『 人 』・『 環境 』× sanko

私たちは 社会貢献企業として『 人 』と『 環境 』への支援活動に取り組みます。

従業員に対しては 職業人としての人間成長と健康を促し 多様な生き方の選択・実現を可能とし 常に活き活きとして働きがいのある仕事・業務体制を通じて 経済成長に貢献します。また、温室効果ガス排出量を減らす世界的な取り組みに賛同し 全社員がＣＯ２排出抑制を意識し行動します。

◇すべての社員に対して 定期健康診断受診率100%維持し 非感染症疾患（ＮＣＤs）発症の予防と重症化予防に重点を置き 戦略的に健康経営を目指すことで 組織価値を向上します。

◇職業的スキルの向上を図る研修プログラムにアクセスできる機会を設け 人間形成・人間成長を目指す人財評価を行なうことで 社会に役立つ社員を育成します。

◇子育て期や中高年期などの各段階に応じて多様な生き方の選択・実現を可能とし すべての社員がやりがいと充実感を感じながら 仕事に取り組める環境で 経済成長の維持・拡大に貢献します。

◇持続可能な消費と生産のために ライフサイクルを通じて ＣＯ２の排出抑制に寄与する活動を進めます。